

## 詩編 第119篇 18節

「私の目を開いてください。私が、あなたのみおしえのうちにある奇しいことに目を留めるようにしてください。」

これまで、見たいものを見、見たくないものさえ見、見てはならないものまで見てきた者が願います。世にあるものを手当たり次第に見続けてきた者が願います。これ以上なにを見たいのか、と思うほど飽くなき欲望の目で見てきた者の願いです。

これほど見てきたが、まだ見ていないことがあります。だから、切実な願いを、あなたである神に訴え祈ります。自分がそうするのではなく、あなたが私の目を開いて下さいと祈ります。自分の目で見るとは、あなたに開かれた私の目で見るとして、と願います。

そうすれば、わかります。いままで私が見てきた世界から離れ、あなたが私の目を開き、見せてくださる世界に移されたことを。あなたのみおしえのうちにある奇しいことを。あなたの眼差しの中にある奇しいことが見え始めます。

あなたに開かれた目で、あなたのみおしえにある奇しいことを、新しくされた私の目で見、ここに留めます。